

ひょうご

419

M I N - I R E N

2024.9.10

合併号



なくそう核兵器
9条改憲NO!
戦争する日本への道をストップ!

昨年と同じ七夕の7月7日に川西市役所にて国民平和大行進が大阪から兵庫に引き継がれました。核兵器禁止条約が国連で採択されて7年になり、条約採択賛成147か国、署名93か国、批准70か国と昨年から増えていますが、日本政府は未だ批准していません。そればかりか核兵器使用も辞さない戦争への道を歩みつつあります。

兵庫は瀬戸内側と日本海側に分かれ、瀬戸内コースは川西市役所から宝塚、伊丹、尼崎、西宮、芦屋、神戸、明石、加古川、高砂、姫路、たつの、相生、赤穂市までを10日間で歩き、岡山へ引き継いでいます。日本海コースは7月4

日に京都より引き継いで、6日間で鳥取に引き継いでいます。

参加者の横断幕やのぼりも様々でしたが、流行りのファン付きベストや小型扇風機を片手に体調管理しながら行進する姿に時代の移り変わりを感じました。

東京から広島まで通じて歩かれる方（「通し行進者」と呼ばれ、敬意の対象になります）やシュプレヒコールされる団体など、それぞれ表現する形は違えど「核兵器はいらない」「戦争のない平和な社会」の思いを共有して歩めた大行進でした。



事業所・職場紹介

輝いています！

誰もが自分らしく住み慣れた 自宅で過ごすことができるよう

宝塚医療生活協同組合 ヘルパーステーションひだまり 所長 山下 久実子

私たちの事業所は、2005年にひだまり3姉妹の末っ子として誕生！2016年にはひだまり会館の建て替えにより、小さな医療介護の拠点ができました。現在職員数19名、常勤換算10名。月平均の利用者様は100名、訪問回数1200回前後の事業所です。

30代からもうすぐ80歳を迎えるベテランヘルパーもいて、「風通しの良い職場づくり」を目指しています。感染症対応も多く大変ですが、利用者様の「あなたが来てくれるから生きることができる」「ありがとう」の言葉に支えられ、ゴーグルマスクの下は笑顔で訪問しています。余命宣告をされ最期はご自宅でと希望される利用者様も多く、人生の幕を下ろす瞬間に出会いたくさんことを学ぶことができ、大変ですがやりがいもあります。また突然診療所や居宅へ駆け込んでこられる組合員様の相談、「昨夜から寝室で転んで床から起き上がれない」「体調不良で汚染した部屋で困っている」など様々なSOSにこたえ、迅速に訪問支援を行うこともあります。

ヘルパー不足は深刻で、介護

報酬引き下げの影響もあり、小規模事業所は相次いで閉鎖しています。利用者様は「入浴の回数が減った」「希望の時間帯や曜日ではないが仕方ない」という状況。一人ひとりに寄り添った介護提供が困難な現状があります。

年金は下がる。介護保険料は上がる。利用したくても制限される。また、支えるご家族も「これ以上介護負担が増えたらやっていけない」の叫び声!!

新介護署名がスタートし、全職員が署名用紙を持参しています。事業所へ来る営業の方や他事業所の方に声をかけたり、毎月の担当ケアマネへの実績報告にも返信用封筒を入れ訴えています。

誰もが大切にされ安心して介



▲今日の夕飯何にしましょうか？
共に考え調理します

護保険が利用できるように、専門職としての誇りを持ち働き続けられるように、共に学び共に育ち合う仲間たちと運動できる事業所を目指していきます。少しづつですが私たちの運動がつながり、広がり、大きな声となり、国へ届き変わることを信じ取り組みを大切にしたいと考えています。



事業所の窓から～歴史と地域紹介～
宝塚医療生活協同組合

歴史から見る良元診療所

16

戦後の運動で土地を獲得した良元診療所



現在の阪神競馬場と新明和工業の場所に戦前川西航空機宝塚製作所がありました。1945年（昭和20年）7月の空襲で全滅。戦後地元住民を中心に、競馬場誘致による土地取り上げに反対し「耕作者同盟」を結成、運動をすすめました。その後補償問題や雇用対策等について調印がかわされ、阪神競馬場の北西の隅に土地と保証金を獲得、1953年（昭和28年）8月良元診療所を開設しました。

しかし競馬場の排気ガス、渋滞、不法駐車などの「競馬公害」がひどく、診療所利用者が安全に利用できない状況が続きました。その後競馬場との話し合いの結果、1974年（昭和49年）、競馬場の土地であった大成町の土地と交換することに合意。良元診療所は、現在の地に移転新築しました。

阪神淡路大震災（1995年1月）前までは、阪神競馬場は、春は桜がきれいで診療所の患者さんたちと「花見」に行ったり、夏には10数万人が参加する「宝塚まつり」も開催、にぎわいのある地域でした。阪神競馬場も1991年（平成3年）11月新築竣工しました。その後阪神淡路大震災で大きな被害にあい、11か月休止を余儀なくされました。

今は無き「鹿塩駅」・鹿塩にまつわる伝説

●鹿塩駅（鹿塩）…今は竹藪のみ、戦争中「小林駅」と「仁川駅」の間に駅があった。

戦闘機をつくる川西航空機という大工場があり、最盛時は4万人の従業員が乗降するため軍の命令により



▲最初の良元診療所

特別に作られた臨時駅。1943年（昭和18年）12月開設。川西航空機の工場が空襲で全滅。1945年（昭和20年）9月21日廃止。鹿塩の金龍寺の裏の竹藪の中にあったという。



▲旧・鹿塩駅付近



▲今はなき鹿塩駅

●熊野神社（仁川台）…「鹿塩」の地名の伝説が伝えられる神社

ある年神社の近くで牝鹿の姿が見えなくなり、牡鹿が八方探し求めたが見つからず、ある日井戸を除くと、水面に映った自分の姿を、探していた牝鹿と見誤り井戸に身を投じた。村人は牡鹿を哀れみ、尻を塩でとりまき、春日の宮（奈良）に送ったという。10月11日は神社の秋祭りとし、その日は、どの家も塩漬けにした物を一切口にしないという。



▲熊野神社

核兵器のない

原水爆禁止2024年世界大会 in広島

平和で公正な世界へ道を切りひらこう!

8月4日（日）～8月6日（火）の3日間で行われた原水爆禁止世界大会（広島）に兵庫民医連より34名参加しました！

「私は、今、核戦争が起こされるのではないかという恐怖におびえています。……原爆は、人間として死ぬことも、人間らしく生きることも許さない絶滅だけを目的とした「狂気」の兵器です。……核戦争を無くす最も確かな道は核兵器を無くすことです。核抑止論は「核脅し論」以外の何ものでもありません。」
 （原水爆禁止2024年世界大会・国際会議での被爆者・木戸季市さんの発言より）

参加スケジュール

8/4(日) 8:00 JR神戸駅集合 バス2台で広島へ出発！
 13:00 会場着（広島県立総合体育館・グリーンアリーナ）
 14:00～16:30 世界大会開会式
 17:00 兵庫県代表団会議



被爆者の生の声を聞いて
 胸がはりさけそうになった。
 （共和会 看護師）

8/5(月) 各自分科会参加（広島市内各会場）
 16:30 平和記念公園にて各法人折鶴奉納 資料館見学

8/6(火) 8:00 平和祈念式典
 10:30～13:00 世界大会広島閉会式
 13:30 バスで帰郷
 19:00すぎ JR神戸駅着 解散



●感想文から●

私は広島の原爆で家族をなくしました。当時一歳で記憶がないことをずっと後ろめたさがあった。参加して違った思いが芽生えた。行ってよかった。（共和会 組合員）

核の使用に抵抗なく、戦争の道具として口に出せる保有国が増えたことを実感した。周知すること、もっと多くの人に参加してみてもらうことを行おにしたい。（県連 事務）

どれだけ悲惨な事が起きていたかを実感することができました。今後、体験した人がいなくなる未来に今直接声を聞いた者が繋げる必要があることを強く思いました。今ある平和が過去に戦争を経験した人からの贈り物である事を感謝し署名等、今の自分達が出来る事を頑張りたいと思いました。（尼崎 事務）

あたりまえの平和を深く考えることなく過ごしてきました。これが恥ずかしく思えてきました。幾多の涙、悲しみの上に存在していたのか、尊い生命が…。忘れません、広島のこと。忘れません、長崎のこと…。（姫路 組合員）

動く分科会報告

進む軍事拡大 肌で実感！！

県連事務局 木村 忠勝

動く分科会に参加するため、8月5日（月）8:30にJR広島駅に集合、25名ずつ7台のバスに分乗し、約1時間かけて岩国基地に到着しました。中に入れるのかなと期待していましたが、入ることは叶わず、基地より北にある今津川の堤防から説明を受けることになりました。

岩国基地は日米共同使用の基地で、面積は575ヘクタール（甲子園球場145個分）の広い敷地内に、海上自衛隊岩国航空基地とアメリカ海軍海兵隊岩国航空基地があり、米軍機や空母艦載機の駐機場だけでなく、他の国から来た外来機も駐機できるよう

なっています。また、「沖合移設」の名目で基地を刷新し、新たに港湾を設けたことで空母艦が寄港しやすくなっています。基地内に空中給油機駐機場も備えていることから、対中国攻撃となった際は、海上自衛隊がアメリカの航空部隊の給油・整備・物資や負傷兵の搬送を行うこととなり、岩国基地は出撃基地及び兵站拠点基地の役割を担うこととなり、相手国から攻撃の的になることが想定されるとのことでした。

実際に駐機場には戦闘機が肉眼で3機確認され、併設する岩国錦帯橋空港の民間機が戦闘機の前を横切っていく様子は、かなり異質に感じられました。

滞在時間は30～40分ほどでしたが、その間に九州上空で実施されている共同訓練「レゾリュート・ドラゴン」に参加する戦闘機が2機ずつ2回飛び立っていました。その音は耳だけでなく体に響き、基地のすぐ近くにある学校などには防衛費で防音の二重ガラスや空調機などが手配されたそうです。

この港湾埋め立てのために削られた近くの愛宕山には、アメリカ軍所有のスポーツ施設や将校用家族住宅が設けられており、それらを日本の予算で賄っているとのこと。また、基地近くには兵隊相手の店が立ち並び、基地交付金によって市が潤う図式には、他の主だった産業のない市町に原発や産廃処理場を押し付ける国の手法を見るようでした。

基地調査後に錦帯橋で昼食を取り、午後からロープウェイで岩国城まで上がって岩国基地を展望してみると、住宅地に適した場所を基地が占拠している様子が確認でき、沖縄の普天間基地周辺にも似た光景がありました。

翌日の閉会式で聞いた核兵器廃絶への広島からの呼びかけを聞きながら、日本は一体何を目指しているのだろうと思いつつ、核兵器だけでなく、これらの軍隊も使われない世の中を切望せずにはいられませんでした。



全体地図（赤囲みが米軍所有）



県連事務局員着任のお知らせ



7月1日から尼崎医療生協より県連事務局に着任しました白石紀代子（しらいしきよこ）です。兵庫県伊丹市在住、夫と子ども3人の5人家族、就職で東京にいる長男をのぞき伊丹には4人で住んでいます。

12年ほど前に尼崎医療生協に入職、事務職として健診・病院・内科診療所・小児科診療所を経て、直近では虹の会の介護施設で従事していました。衛生管理者の資格を生かして衛生委員会やメンタルヘルス対策などもすすめてきました。

4月には石川の能登支援にも参加させていただき、能登の現状を目の当たりにしたとともに、全国の民医連の仲間と活動し民医連のすばらしさを実感しました。今までの経験をもとに県連事務局でもがんばっていきたいとおもいますので、よろしくお願い致します。

読者の声

●推し活をしている友達に会いました。本当に楽しそうで、目はキラキラ、お肌はツヤツヤ！羨ましい！私も誰かを推したい！！

ペンネーム そのこ

●梅雨に入り、ジメジメした日が続くのがとても嫌です。こんな時期こそ熱中症にならないようしつかりと水分補給することを心がけています。早く冬にならないかなあ笑。

ペンネーム M

●PFASという言葉は初めて聞きました。1万種類以上が存在すると知って驚きました。事業所では熱中症予防に保冷剤入りのタオルを準備しています。体調不良が続き医療費がたくさんかかりました。健康が一番ですね。ニュースの内容は少し内容が難しいときもありますがとても勉強になります。

ペンネーム MA

●新しい医師。尼崎医療生協病院はいいですね！東神戸病院にも若い医師が来てほしいです(笑)

ペンネーム あーちゃん

●庭に植えたトマトが赤く色づき、「仕事が終わって帰ってきたらとろう！」と思ってたのに…。カラスに中身を食べられ皮しか残っていなかった。悲し！！

ペンネーム ちこ

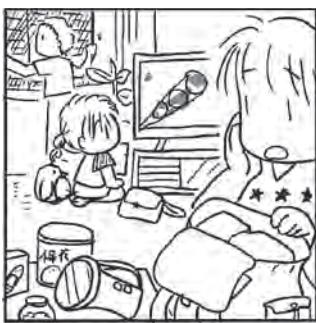
●今はTVよりYouTubeかNETFLIXを見ている時間が多くなりました。特にメジャーリーガー大谷翔平さんの活躍が気になって毎日チェックしています。まるで母親かのようにホームランを打つとホッとします。どうか無事に大好きな野球を続けられますように…。

ヘルバーステーションあぼし
栗林由季

まちがいさがし 9・10月

正解者のうち5名の方に
図書カードを差し上げます。

まちがいは8つ



作・小田求

【応募のきまり】

〈締切〉2024年10月10日（木）◇当選者は2024年11・12月号に掲載。

〈応募〉1人1通。はがき又はEメールで。

氏名（投稿はペンネームでも可）、院所名（職場・職種）、O Bの方は在職時の法人名を記入の上、下記へ送付して下さい。

〒650-0047 神戸市中央区港島南町5丁目3-7
兵庫民医連ニュース「クイズ」係

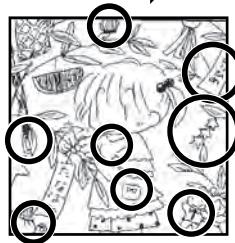
〈Eメール〉kikansi@hyogo-min.com

※余白に、①興味深かった記事と感想、②事業所での取り組み紹介、③近況、④ニュースへのご意見等、お書き下さい。

7・8月号の応募者は
8名で全員正解でした。
右記の5名の方に
図書カードを進呈。

- ①栗林 由季（ヘルバーステーションあぼし）
- ②松下 公典（ケアセンターふれあい）
- ③M A（ペンネーム）
- ④西井 直美（生田調剤薬局）
- ⑤村川美和子（神戸医薬研究所）

7・8月号
の答え



法人topics

兵庫県医療事業協同組合

連載コーナーです。

法人で“キラッと輝く”職員の、民医連で働き続ける理由や、こだわりを紹介します。

セントラルキッチン事業部はあもしい
おかだ ありさ
岡田 光紗さん

栄養士



入職したきっかけ

前職では保育園栄養士として勤務していたのですが、医療や患者様の健康に関わる仕事がしてみたいと思い転職活動を行ったところ、ご縁がありこちらの事業所にて非常勤栄養士として勤務することとなりました。

その後6か月間の非常勤勤務期間を経て、この4月から常勤栄養士として働かせていただく運びとなりました。

仕事でのこだわり

医療に関わる栄養士として、求められる仕事のスタンスを理解しそれを正確に形にすることを日々の目標にしています。

また職場の良い雰囲気づくりも大切だと考えているので、今後はこれまで以上に人の繋がりを大事にしていきたいです。



プライベート

現在7歳の女の子の子育て中です。娘も私自身もとてもアクティブなので、休みの日にはアスレチックやテーマパーク、趣味の釣り等に出かけ、身体を動かして遊んでいます。仕事と子育ての両立は大変ですが、これも今しか出来ない経験だと思って毎日を楽しむようにしています。

兵庫県民主医療機関連合会

1.17を忘れない 「はるかのひまわり絆プロジェクト」

兵庫民医連教育委員会 藤岡裕子・古澤佑貴

皆さんは「はるかのひまわり絆プロジェクト」をご存じですか？阪神淡路大震災で自宅が崩れ落ち1階で寝ていた小学生の「はるかちゃん」がお亡くなりになりました。その震災から半年後、かつてはるかちゃんの家があった空き地、はるかちゃんの遺体を発見した場所に無数のひまわりの花が力強く太陽に向かって咲きました。何もなくなってしまった町の空に次々に咲いた大輪の花はたくさんの人を励まし勇気づけたと言います。そのひまわりの花の種を全国で生育し、残された遺族の思いに寄り添い、災害や命の尊さを再考する機会として欲しいと始まったのが「はるかのひまわり絆プロジェクト」。



今では、全国ではるかのひまわりが咲いています。

阪神淡路大震災から29年経ち震災未経験の職員も多く入職してきています。県連制度教育の2年目研修で

は、改めて、あの震災はどのような震災だったのか、民医連の支援はどのようなものだったのかを学ぶとともに、被災者遺族の気持ちを理解し、民医連綱領にも通じる



「人の尊厳」「人との関わりの大切さ」「人との絆」を医療介護職として考えるきっかけとするために、この「はるかのひまわり絆プロジェクト」に参加しています。このプロジェクトは一人でプロジェクトに参加するのではなく、事業所・同僚・同期・利用者さん患者さんなど周りを巻き込みながらひまわりを育成し、ひまわりの由来を語りながら2年目職員自らが主体的に行動することを目的としています。

県連事務局でも5月末に種をまき8月に開花しました。事務局員みんなで水やりをして育てたひまわりは今日も元気に太陽に向かって咲いています。